



2026年8月31日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

13,702万kW
13時30分、137,022 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

4,060万kW
12時、40,605 MW (自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

134万kW
23時30分、1,337 MW

◇ 再エネ最大需要比

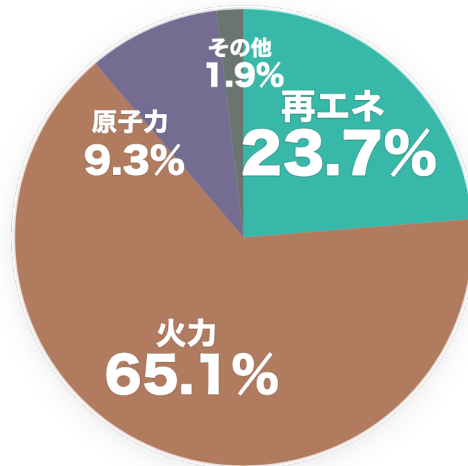
40.4%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

東京
103 GWh

↔ 最大送電エリア

東北
110 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 45.7%

35.8 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

47.2 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、13:30に3,832万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで45.7%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	23.7%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	627 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,642 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	40.4%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	47.2 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	45.7%	35.8	0.0	送電 6.6
東北	30.0%	95.0	0.0	送電 110
東京	17.1%	114	0.0	受電 103
中部	29.4%	106	0.0	受電 65.0
北陸	35.2%	32.0	0.0	送電 10.0
関西	17.4%	76.3	0.0	受電 58.0
中国	22.4%	48.7	0.0	送電 18.4
四国	23.0%	26.3	0.0	送電 28.2
九州	26.9%	90.2	0.0	送電 30.2
沖縄	9.8%	2.9	0.0	—



2026年8月31日の供給実績

北海道エリア

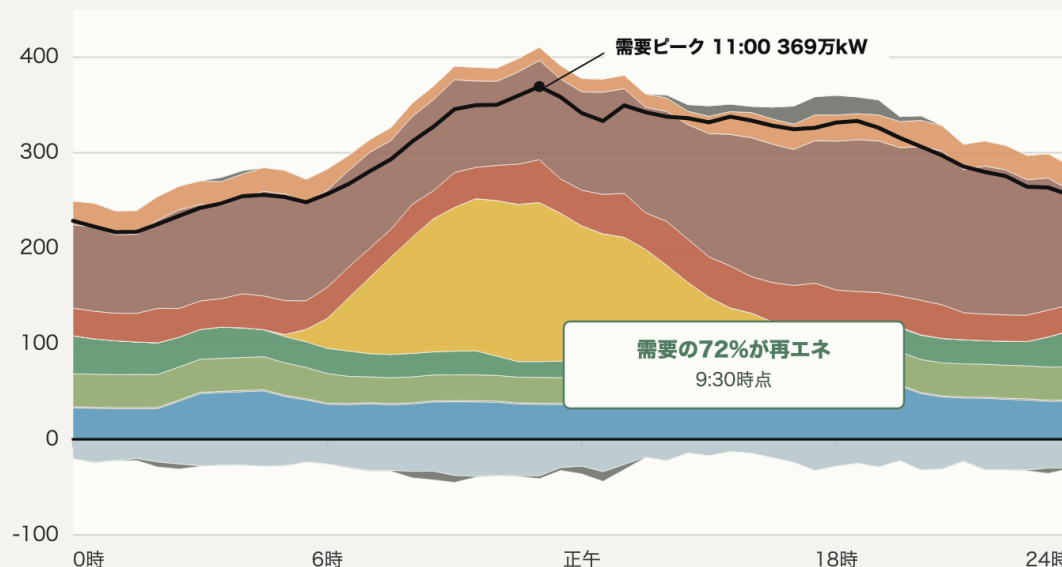
再エネ

35.8GWh

(発電電力量ベース45.7%)

北海道エリア 2026年8月31日の供給実績（残余需要方式）

万kW



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

78.3GWh

需要ピーク

11:00、369万kW

連系線・その他

6.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク167万kW、風力ピーク40万kWで、時間別の再エネ最大需要比は72.0%だった。



2026年8月31日の供給実績

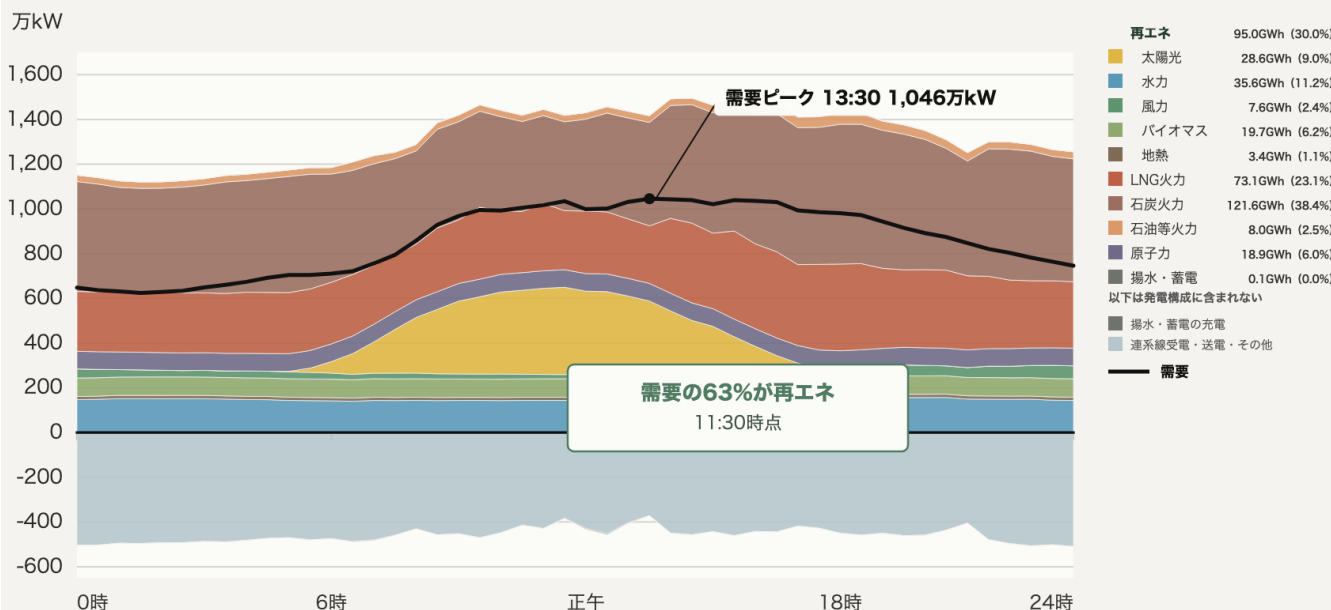
東北エリア

再エネ

95.0GWh

(発電電力量ベース30.0%)

東北エリア 2026年8月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

316.7GWh

需要ピーク

13:30、1,046万kW

連系線・その他

110.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク390万kW、風力ピーク59万kWで、時間別の再エネ最大需要比は63.4%だった。



2026年8月31日の供給実績

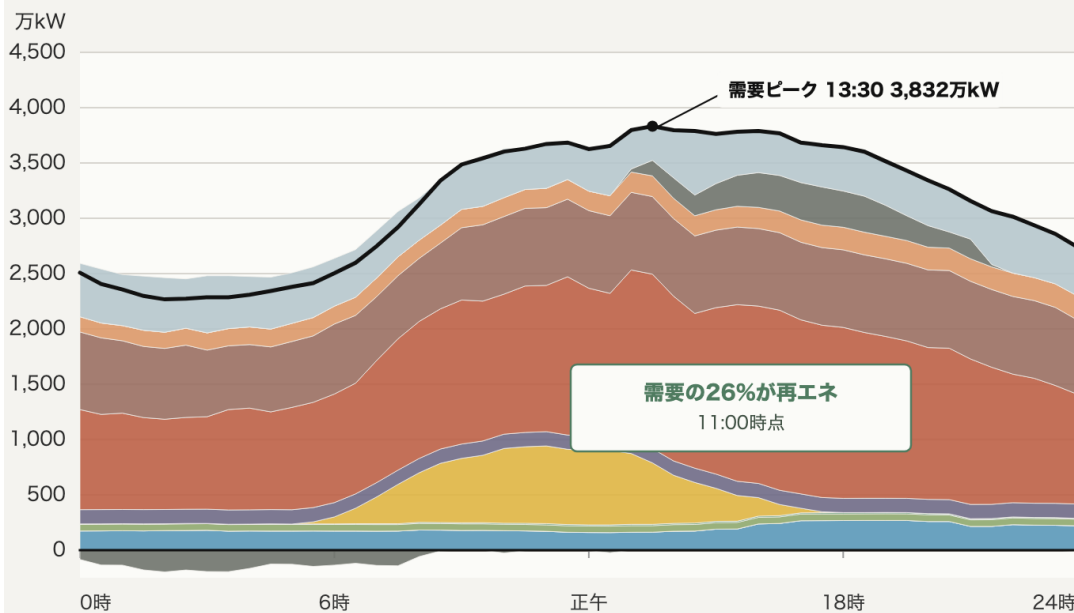
東京エリア

再エネ

113.5GWh

(発電電力量ベース17.1%)

東京エリア 2026年8月31日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 662.4GWh
(6,624万kWh)

再エネ	113.5GWh (17.1%)
太陽光	49.7GWh (7.5%)
水力	47.5GWh (7.2%)
風力	2.1GWh (0.3%)
バイオマス	14.2GWh (2.1%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	294.4GWh (44.4%)
石炭火力	160.2GWh (24.2%)
石油等火力	42.9GWh (6.5%)
原子力	31.0GWh (4.7%)
揚水・蓄電	20.4GWh (3.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

662.4GWh

需要ピーク

13:30、3,832万kW

連系線・その他

102.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電

12.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク703万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は25.8%だった。



2026年8月31日の供給実績

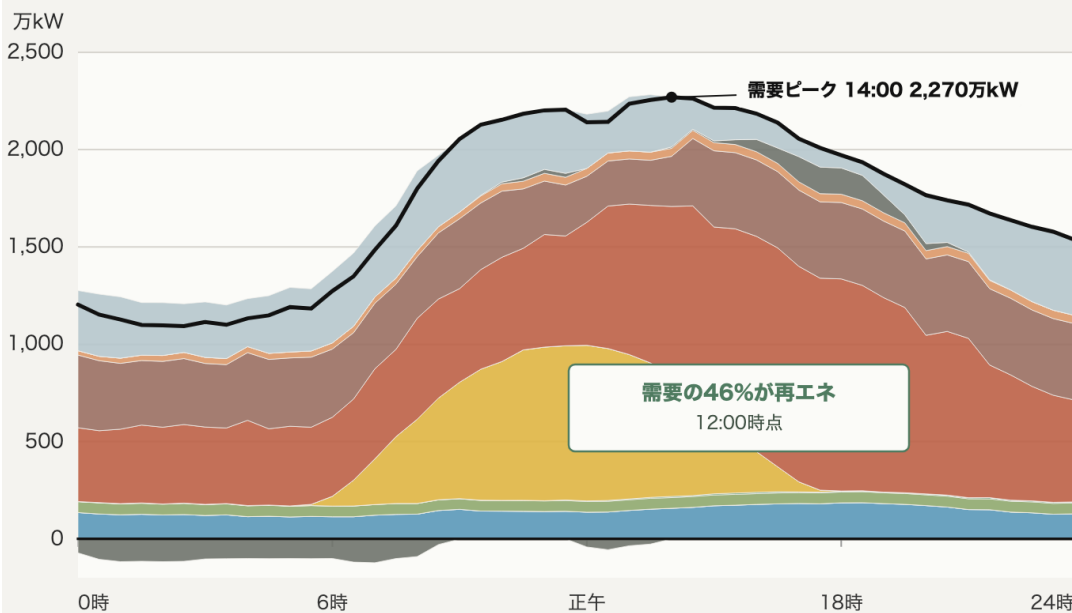
中部エリア

再エネ

105.9GWh

(発電電力量ベース29.4%)

中部エリア 2026年8月31日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 360GWh
(3,599万kW)

再エネ	105.9GWh (29.4%)
太陽光	57.2GWh (15.9%)
水力	34.6GWh (9.6%)
風力	0.7GWh (0.2%)
バイオマス	13.3GWh (3.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	156.9GWh (43.6%)
石炭火力	83.3GWh (23.1%)
石油等火力	8.9GWh (2.5%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	5.0GWh (1.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

359.9GWh

需要ピーク

14:00、2,270万kW

連系線・その他

65.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

9.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク800万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は46.5%だった。



2026年8月31日の供給実績

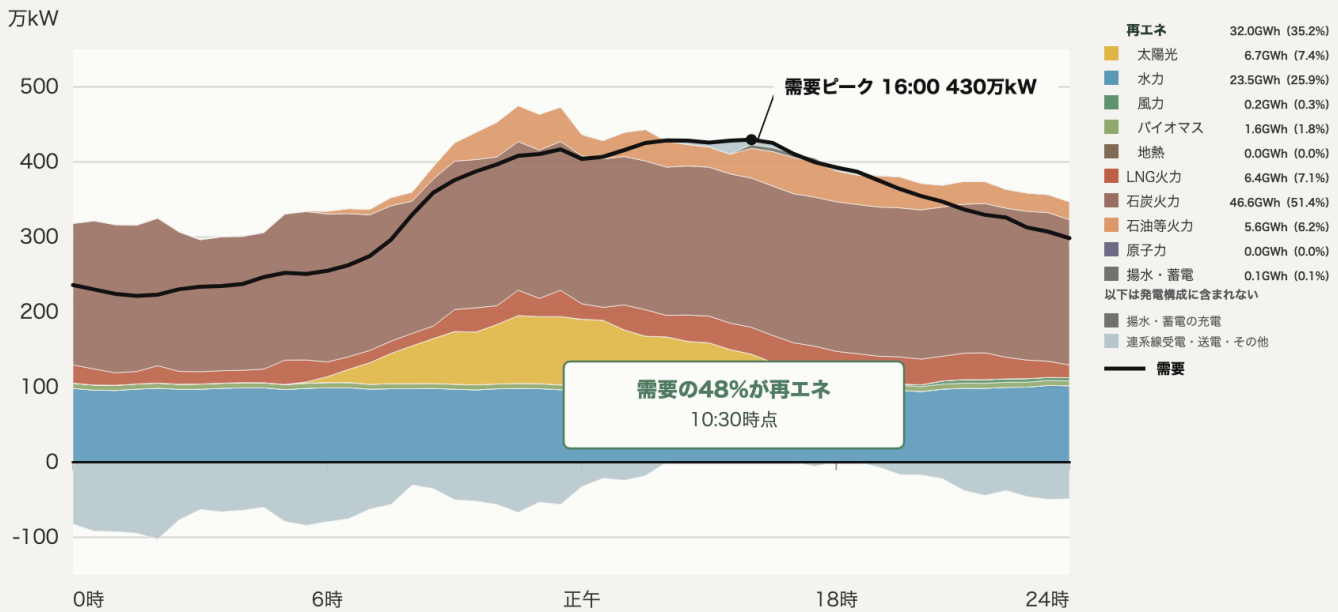
北陸エリア

再エネ

32.0GWh

(発電電力量ベース35.2%)

北陸エリア 2026年8月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

90.8GWh

需要ピーク

16:00、430万kW

連系線・その他

10.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク91万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は48.9%だった。



2026年8月31日の供給実績

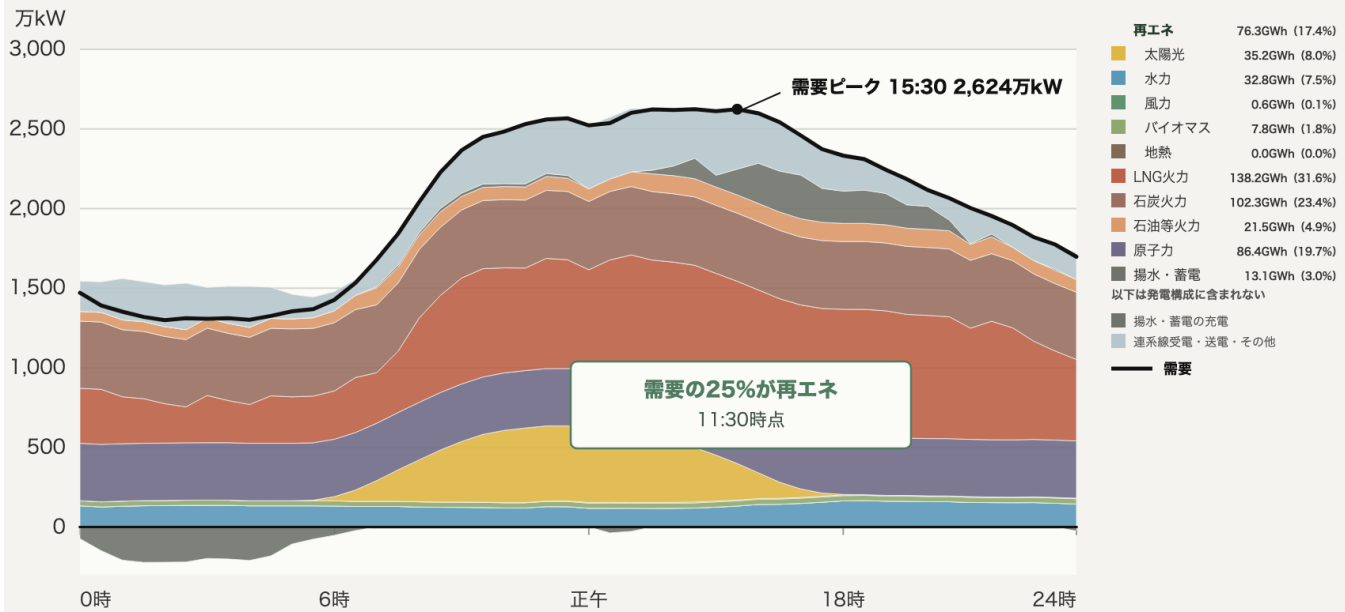
関西エリア

再エネ

76.3GWh

(発電電力量ベース17.4%)

関西エリア 2026年8月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

437.9GWh

需要ピーク

15:30、2,624万kW

連系線・その他

58.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

11.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク472万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.8%だった。



2026年8月31日の供給実績

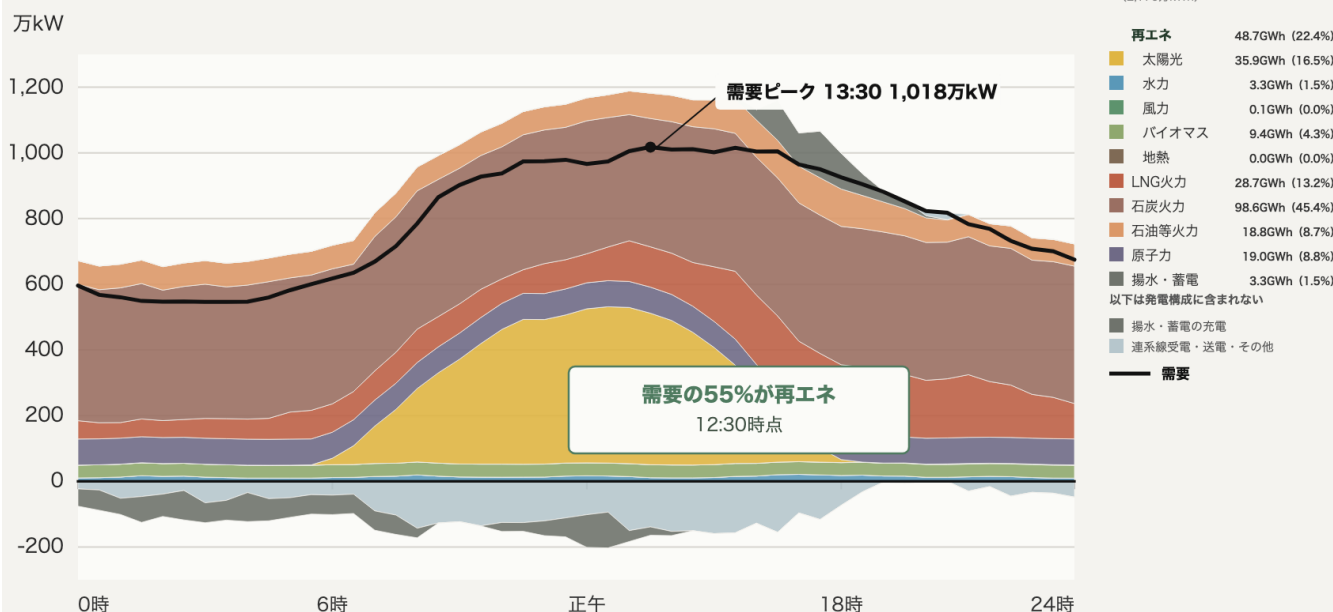
中国エリア

再エネ

48.7GWh

(発電電力量ベース22.4%)

中国エリア 2026年8月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

217.0GWh

需要ピーク

13:30、1,018kW

連系線・その他

18.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

7.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク476万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は54.6%だった。



2026年8月31日の供給実績

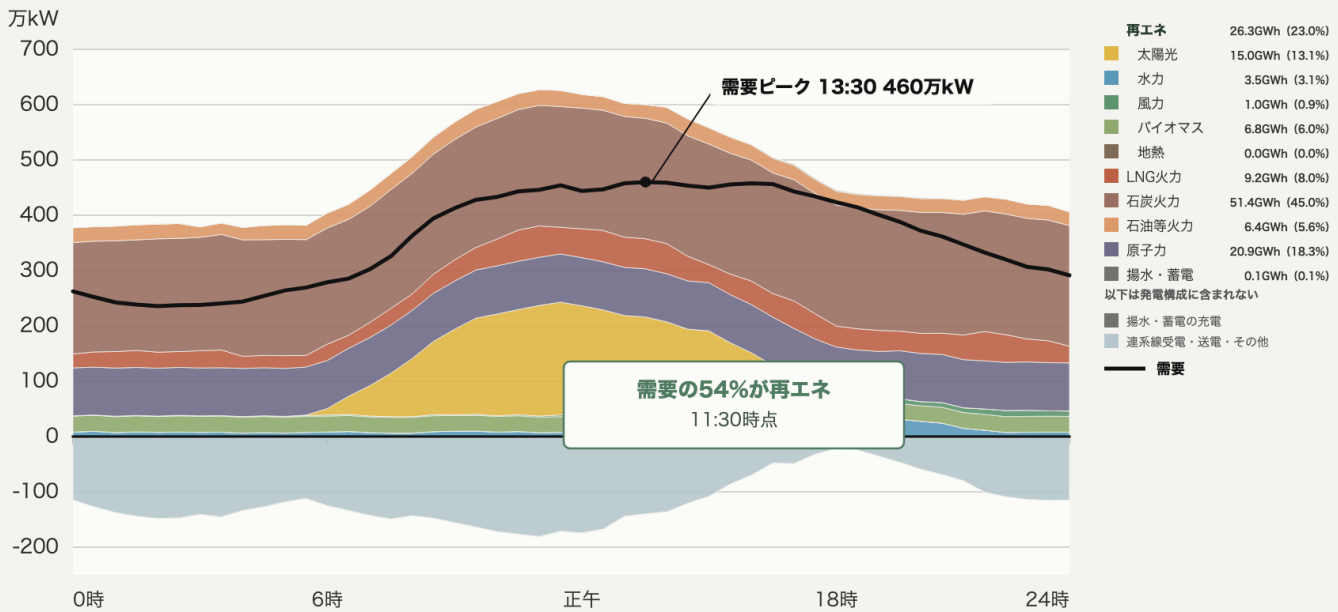
四国エリア

再エネ

26.3GWh

(発電電力量ベース23.0%)

四国エリア 2026年8月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

114.3GWh

需要ピーク

13:30、460万kW

連系線・その他

28.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク204万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は53.5%だった。



2026年8月31日の供給実績

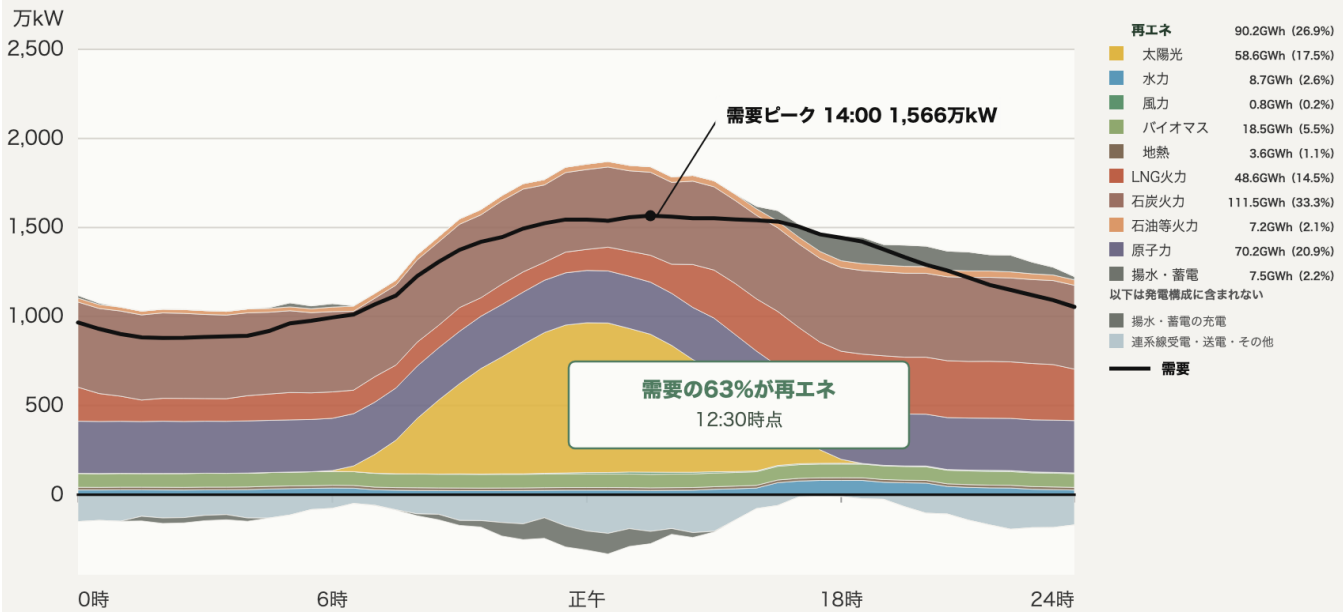
九州エリア

再エネ

90.2GWh

(発電電力量ベース26.9%)

九州エリア 2026年8月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

335.3GWh

需要ピーク

14:00、1,566kW

連系線・その他

30.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

5.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク841万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.7%だった。



2026年8月31日の供給実績

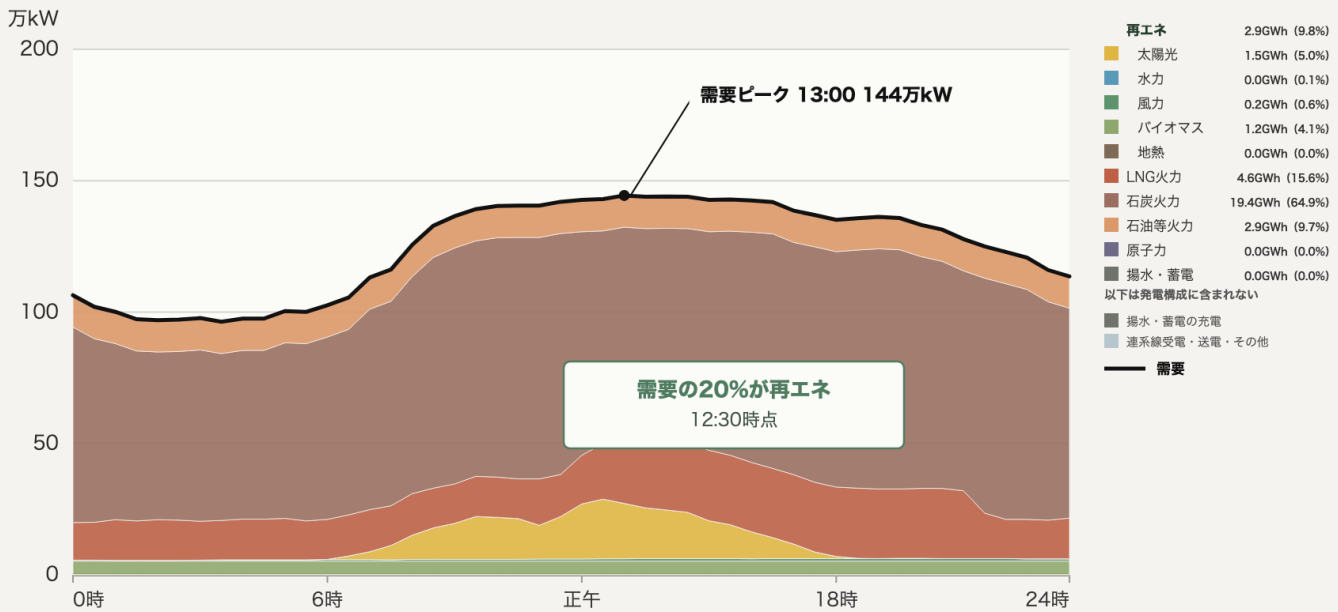
沖縄エリア

再エネ

2.9GWh

(発電電力量ベース9.8%)

沖縄エリア 2026年8月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

29.8GWh

需要ピーク

13:00、144万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク23万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は20.1%だった。